

2008年9月20日

## ISSJ 第2回懇話会のご案内

企画委員会

ISSJ 会員相互の自由な意見交換、情報交換の場として第1回懇話会を去る2月20日に開催しました。29名が出席され、「日本のソフトウェア産業の歴史」について、ホットな議論が交わされました。

懇話会は、きちんとしたテーマは設けず、あえて結論を要求することもせず、放談に価値を見出すといった感じで実施いたしました。今回も切り出しの話題提供者のスピーチを含めて、下記要領で実施いたしますので、お気軽にご参集下さい。

### 記

1. 開催日時 平成20年11月11日(火) 18時~20時
2. 場所 専修大学神田キャンパス7号館(大学院棟) 774教室
3. 話題提供者 松平和也氏  
(株)システムフロンティア/ (株)プライド名誉会長、  
プリンシパルコンサルタント、ISSJ 理事

#### 4. 話題の内容

##### ■テーマ

情報の語源について考える—情報の本質とは

##### ■発表概要

明治9年に作られた情報という言葉はその時代どのように使われたのか。そして、明治の父と司馬遼太郎に称された“小栗上野介”は日本を変えるキーワードとしてRENSEIGNMENT という仏語を指摘する。これを日本語にするにはどうしたらよいか、幕末の開明者である吉田松陰、福澤諭吉、佐野鼎に、問う。吉田は飛耳長目といい、福澤はインフォルメーションといい、佐野は開物成務といった。この架空対談から情報の成立過程を推察する。

情報：敵情報知の中二文字をとり明治9年に明治陸軍歩兵操典に制定された。

ご参考 URL :

<http://www.naska.co.jp>

ここにアクセスいただくと松平氏の論文がありますのでダウンロードしてお楽しみください。

#### 5. 連絡先

出席される方は、幹事・杉野又は伊藤宛てにご連絡下さい。

会場 専修大学 魚田勝臣 [uota@isc.senshu-u.ac.jp](mailto:uota@isc.senshu-u.ac.jp)

幹事 国士舘大学 杉野 隆 [sugino@kokushikan.ac.jp](mailto:sugino@kokushikan.ac.jp)

みずほ情報総研 伊藤重隆 [shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp](mailto:shigetaka.itou@mizuho-ir.co.jp)

(メールアドレスの @ は ■ に置き換えています)

以上